

福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成27年10月号）

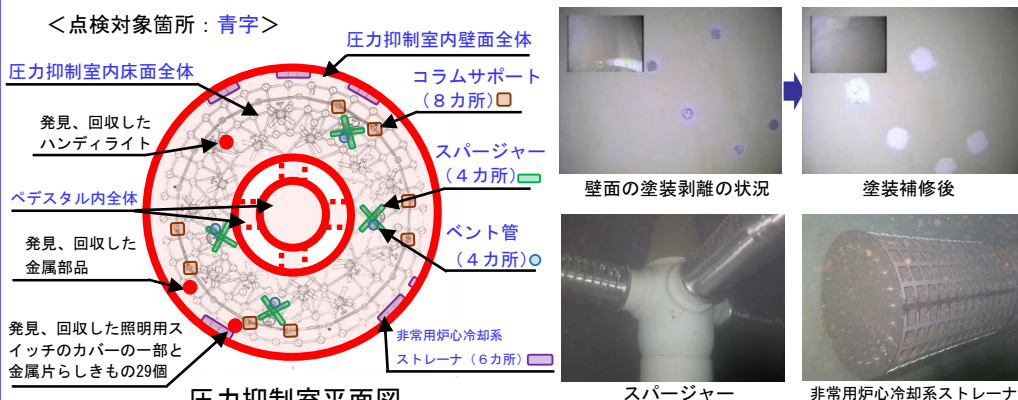
福島第二原子力発電所1～4号機は、安定した燃料の冷却を継続しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。

1号機で圧力抑制室内の点検が完了しました

- 当所1号機は、本年8月26日から10月10日にかけて、圧力抑制室内の内面および構造物について潜水作業による目視点検を実施しました。
- 点検の結果、設備に変形や損傷等の異常は確認されませんでした。また、同室の内面および構造物の表面の一部に、塗装の剥離やさびが認められましたが、いずれも同室の機能に影響を与えるものではありませんでした。なお、塗装の剥離が確認された箇所については、塗装補修を実施しました。
- 今回の点検で、以前、落下させたハンディライトを回収しています（先月号でお知らせ済み）。また、この他にも異物を発見、回収していますが、これらによる同室の機能および設備への影響はないことを確認しています。異物が混入した原因等について、今後取りまとめでお知らせします。

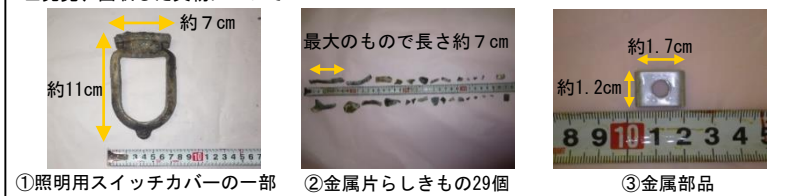
○点検範囲および点検結果（写真）

＜点検対象箇所：青字＞



圧力抑制室平面図

■発見、回収した異物について



作業員の「安全」を確保するため「危険」を体感する研修を実施しています

- 当所では、作業員の安全意識の向上等を目的に作業現場に潜む危険を実際に体感する『危険体感研修』を取り入れており、9月に実施した研修では、福島第二の所員および協力企業などから約430名が参加しました。
- 研修では、長さ約2mの鉄パイプ（約5.5kg）を6mほどの高さから落下させ、鉄パイプがヘルメットを貫通する様子を目の当たりにしたり、コンクリートブロックの間に身体の一部（模擬）が挟まれる状況等を体感しました。これらの研修を通して、小さな気のゆるみが大きな人身災害へと容易につながってしまうことを参加者達は改めて認識しました。
- 今後も様々な「危険」を体感し、危険に対する意識付けと安全意識の高揚を図り、不安全行動の防止につなげ作業員の「安全」を確保していきます。



鉄パイプがヘルメットを貫通した様子



ブロックによる挟まれ体感



回転工具による巻きこまれ体感



安全帯を使ったぶらさがり体感

新入社員を対象とした研修を実施しました

- 原子力職場に必要な基礎知識や技術を身に付けるための研修を、今回当所において、福島第一、第二の新入社員を対象に実施しました。
- 机上研修では、電気設備の取り扱いや、制御回路、配管系統等の図面の見方といった基本事項を学んだり、労働災害を未然に防ぐ手法として、作業事例を用いて討議し、現場に潜む危険性を洗い出す訓練を実施しました。
- 実技研修では、協力企業の熟練作業員の方に講師をお願いし、重量物の取り扱いや、作業用足場の組み立てについてご指導頂きました。受講者達は、初めての足場組み立て作業に緊張した面持ちで取り組んでいました。
- 今後も様々な研修等を通して、発電所の要員に必要な知識や技術を身につけ、作業安全、設備安全に努めていきます。



机上での研修



足場の組み立て

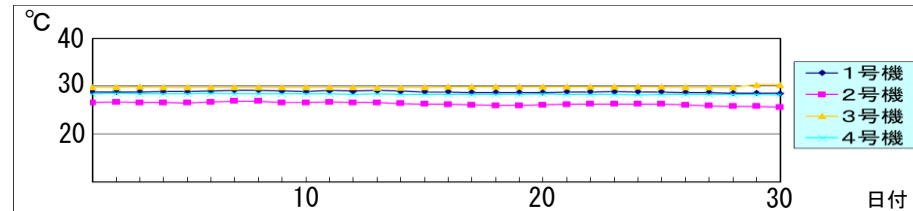


重量物の吊り上げ

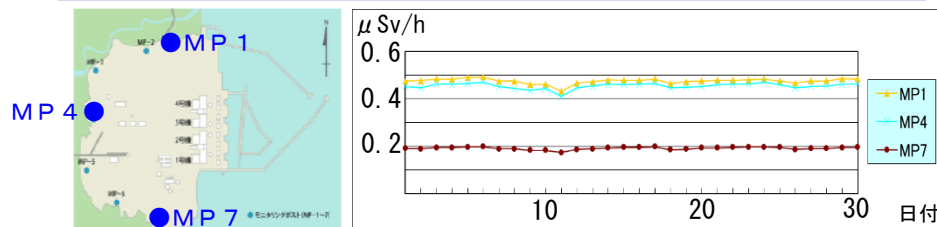
燃料の冷却状況（9月分）

使用済燃料プール水の温度は、30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。

【使用済燃料プール水温度】



モニタリングポスト（MP）の計測状況（9月分）



設置しているMP7基のうち、3基を代表で記載しています。

さらに詳しい情報は当所ホームページをご覧ください。 <QRコード>
<URL> <http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>



3号機で使用済燃料プールゲートを閉じる作業等が完了しました

- 3号機において、9月14日に使用済燃料プールゲートを閉じる作業、および蒸気乾燥器と気水分離器を原子炉内へ移動する作業が完了しました。
- また、蒸気乾燥器と気水分離器を仮置きしていたビットと原子炉ウエルの水を抜く作業も9月30日に完了し、燃料は引き続き使用済燃料プールで安定して冷却・保管されています。
- 今後、1、2、4号機についても、同様な作業を計画しており、準備が整い次第、順次行っていく予定です。

使用済燃料プールの状況(10月1日現在)

号機	水温(°C)	温度上昇率(°C/時)*1	65°C*2到達時間	*1 冷却設備がすべて停止した場合、1時間で上昇する温度	*2 保安規定で定められた制限温度
1号機	28.8	0.3	121時間		
2号機	26.2	0.3	129時間		
3号機	29.9	0.3	117時間		
4号機	28.3	0.3	122時間		



水抜き作業完了後の様子